

フランクリン・テンプルトン 米国政府証券ファンド (愛称：メイフラワー号)

第26作成期

第150期 (決算日 2014年10月15日)
 第151期 (決算日 2014年11月17日)
 第152期 (決算日 2014年12月15日)
 第153期 (決算日 2015年1月15日)
 第154期 (決算日 2015年2月16日)
 第155期 (決算日 2015年3月16日)

運用報告書 (全体版)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	主として米国ジニーメイ・パス・スルー証券 (政府抵当金庫パス・スルー証券) 等の米国高格付け証券に実質的な投資を行い、信託財産の着実な成長と安定的な収益確保を図ることを目指してファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。	
主要投資対象	フランクリン・テンプルトン米国政府証券ファンド	フランクリン・テンプルトン米国政府証券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	フランクリン・テンプルトン米国政府証券マザーファンド	主として「フランクリン U.S.ガバメント・セキュリティーズ・ファンド (米国籍投資法人)」、「フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズ・フランクリン U.S.ガバメント・ファンド (ルクセンブルク籍投資法人)」および「フランクリン・テンプルトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド (バミューダ籍投資法人)」等への投資を通じて、米国ジニーメイ・パス・スルー証券等の米国高格付け証券に実質的な投資を行います。
組入制限	フランクリン・テンプルトン米国政府証券ファンド	外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	フランクリン・テンプルトン米国政府証券マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	収益分配金額は毎決算時 (毎月15日、休業日の場合は翌営業日) に、配当等収益を中心に基準価額水準等を勘案して決定します。	

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「フランクリン・テンプルトン 米国政府証券ファンド (愛称：メイフラワー号)」は2015年3月16日に第155期の決算を行いました。ここに、第150期から第155期の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。



FRANKLIN TEMPLETON
INVESTMENTS

フランクリン・テンプルトン・インベストメンツ株式会社

東京都港区六本木1丁目9番10号

〈お問い合わせ先〉

お客様ダイヤル

電話番号：03-6230-5699

受付時間：9:00～17:00

(土・日・祝日および12月31日・1月2日・1月3日を除きます。)

<http://www.franklintempleton.co.jp/>

お客様の口座内容などに関するお問い合わせは、お申込みされた販売会社までお願い申し上げます。



●最近5作成期の運用実績

決 算 期		基 準 価 額 (分 配 落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		円	円	%	%	百万円
第22作成期	126期 (2012年10月15日)	5,728	11	△0.5	99.3	55,281
	127期 (2012年11月15日)	5,815	11	1.7	99.0	54,575
	128期 (2012年12月17日)	6,095	12	5.0	99.4	55,420
	129期 (2013年 1月15日)	6,472	13	6.4	99.1	57,863
	130期 (2013年 2月15日)	6,689	14	3.6	98.9	57,645
	131期 (2013年 3月15日)	6,913	14	3.6	99.4	58,138
第23作成期	132期 (2013年 4月15日)	7,104	14	3.0	98.9	58,283
	133期 (2013年 5月15日)	7,307	14	3.1	99.0	58,826
	134期 (2013年 6月17日)	6,711	12	△8.0	98.8	52,772
	135期 (2013年 7月16日)	6,993	12	4.4	98.9	53,958
	136期 (2013年 8月15日)	6,839	12	△2.0	99.0	51,553
第24作成期	137期 (2013年 9月17日)	6,916	12	1.3	98.9	50,938
	138期 (2013年10月15日)	6,924	12	0.3	99.3	50,415
	139期 (2013年11月15日)	7,060	12	2.1	98.9	49,978
	140期 (2013年12月16日)	7,217	13	2.4	98.8	48,161
	141期 (2014年 1月15日)	7,297	13	1.3	98.7	46,424
	142期 (2014年 2月17日)	7,152	13	△1.8	98.9	45,007
第25作成期	143期 (2014年 3月17日)	7,156	13	0.2	98.9	44,124
	144期 (2014年 4月15日)	7,175	13	0.4	98.6	43,755
	145期 (2014年 5月15日)	7,200	13	0.5	99.2	43,359
	146期 (2014年 6月16日)	7,194	13	0.1	99.2	42,492
	147期 (2014年 7月15日)	7,165	13	△0.2	98.7	41,693
	148期 (2014年 8月15日)	7,230	13	1.1	99.1	41,416
	149期 (2014年 9月16日)	7,533	13	4.4	98.8	41,978
第26作成期	150期 (2014年10月15日)	7,587	13	0.9	98.8	41,070
	151期 (2014年11月17日)	8,229	14	8.6	98.9	42,964
	152期 (2014年12月15日)	8,384	14	2.1	99.0	42,302
	153期 (2015年 1月15日)	8,311	14	△0.7	98.9	41,220
	154期 (2015年 2月16日)	8,390	14	1.1	98.6	40,894
	155期 (2015年 3月16日)	8,570	14	2.3	98.9	40,737

(注1) 基準価額 (1万口当たり) の期中騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドは、「フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンド」(以下「マザーファンド」)の受益証券を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しています。

(注3) マザーファンドを通じて投資をする投資対象ファンドは、特定のベンチマークを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドもベンチマークを設定しておりません。

●過去6カ月間の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基準価額	投資信託証券組入比率	
			騰落率	組入比率
第150期	(期首) 2014年 9月16日	円 7,533	% —	% 98.8
	9月末	7,712	2.4	99.1
	(期末) 2014年10月15日	7,600	0.9	98.8
第151期	(期首) 2014年10月15日	7,587	—	98.8
	10月末	7,734	1.9	99.2
	(期末) 2014年11月17日	8,243	8.6	98.9
第152期	(期首) 2014年11月17日	8,229	—	98.9
	11月末	8,373	1.7	99.2
	(期末) 2014年12月15日	8,398	2.1	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

決算期	年 月 日	基準価額	投資信託証券組入比率	
			騰落率	組入比率
第153期	(期首) 2014年12月15日	円 8,384	% —	% 99.0
	12月末	8,521	1.6	98.7
	(期末) 2015年 1月15日	8,325	△0.7	98.9
第154期	(期首) 2015年 1月15日	8,311	—	98.9
	1月末	8,363	0.6	99.1
	(期末) 2015年 2月16日	8,404	1.1	98.6
第155期	(期首) 2015年 2月16日	8,390	—	98.6
	2月末	8,437	0.6	99.0
	(期末) 2015年 3月16日	8,584	2.3	98.9

●当作成期中の市場環境（2014年9月17日～2015年3月16日）

（米国金利とジニーメイ・パス・スルー証券市場）

米国10年国債利回りは当作成期首の2.6%台半ばから低下し2.1%台前半で当作成期末を迎えました。市場では、米国経済動向、米連邦準備理事会（FRB）による利上げ時期、ウクライナやイラク情勢などの地政学リスク、そしてギリシャ情勢や原油価格動向などが注目されました。

当作成期首から2015年1月末にかけては地政学リスクの高まりにより投資家のリスク回避姿勢が強まったことから米国10年国債利回りは当作成期首の2.6%台半ばから1.6%台半ばまで低下しました。

その後、当作成期末にかけては、ギリシャ情勢をめぐる懸念が和らいだほか、原油価格の下落の落ち着きを好感して世界的に株価が上昇したことや米国景気が堅調だったことなどを受け、米国10年国債利回りは上昇し2.1%台前半で当作成期を終えました。

当作成期、ジニーメイ・パス・スルー証券市場は上昇しました。代表的な住宅ローン金利のひとつである米国連邦住宅貸付抵当公社の30年ローン金利（固定）の平均値は、当作成期首の4.2%台前半から当作成期末には3.7%台後半に低下しました。住宅ローン金利が歴史的な低水準となるなか、金利上昇に備えた動きから住宅ローンの期限前返済による借り換え件数は上昇しました。

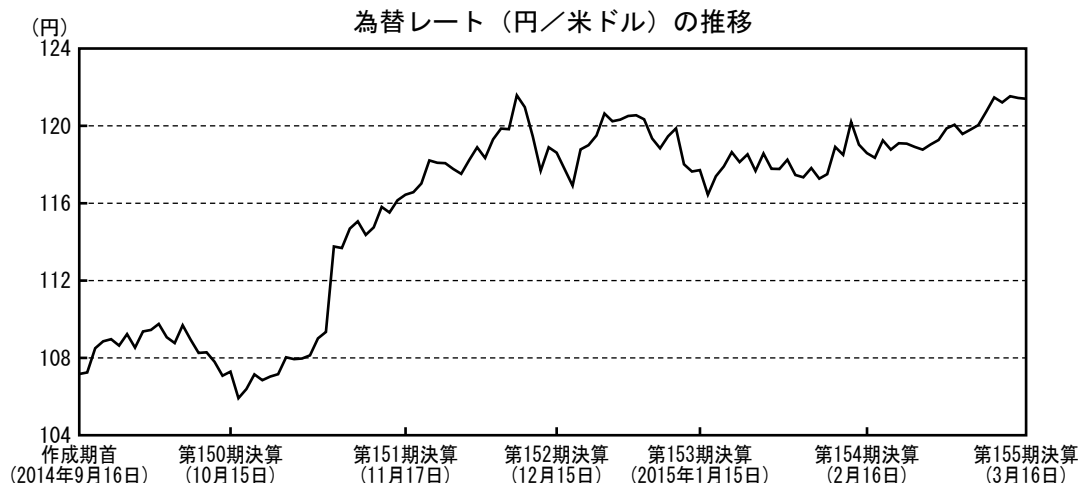


(外国為替市場)

米ドルの対円相場は、当作成期首の1ドル107.17円から14.23円の円安ドル高となる1ドル121.40円で当作成期を終えました。当作成期を通じ、ドル円相場は主に各国の政策動向の影響を受けました。

当作成期首から2014年12月上旬にかけては、2014年10月末に日本銀行が追加的な金融緩和策を決定したことや年金積立金管理運用独立行政法人（G P I F）が海外資産の運用比率の引き上げを発表したことなどからドル高円安が一気に進み、ドル円相場は1ドル121円台半ばまで上昇しました。

その後、ドル円相場は一時115円台後半まで下落する局面もありました。しかし、スイス中央銀行が対ユーロで設定していたスイスフランの上限の撤廃、欧州中央銀行（E C B）による量的緩和策の導入、米国雇用環境の改善や昨年来大きく下落していた原油価格の回復などを受けてドルが買い戻されたことから、米ドルの対円相場は1ドル121.40円で当作成期を終えました。

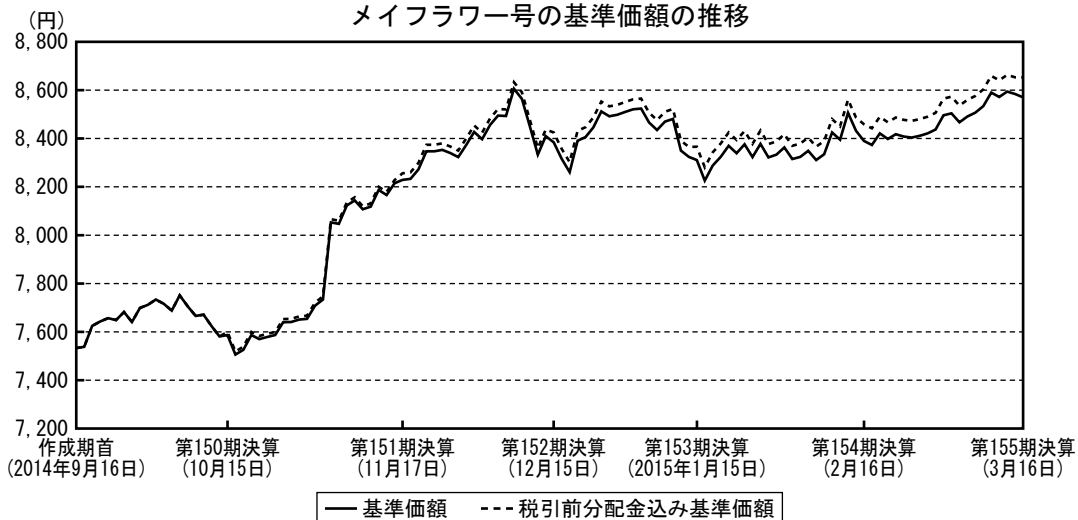


※為替レートは、三菱東京UFJ銀行対顧客電信売買相場の仲値です。

● 当作成期中の運用経過（2014年9月17日～2015年3月16日）

○ 基準価額の推移と主な変動要因

当ファンドの基準価額は、当作成期首の7,533円から1,037円上昇し、当作成期末には8,570円となりました。なお、当作成期中にお支払いした分配金83円（税引前）を含む当作成期末の基準価額は8,653円となり、当作成期首に比べ14.9%上昇しました。



(基準価額の変動要因)

当ファンドは、フランクリン・テンプレートン 米国政府証券マザーファンド（以下、「マザーファンド」）にほぼ100%投資しました。このため、基準価額はマザーファンドの値動きを反映したものとなりました。

ジニーメイ・パス・スルー証券が上昇しマザーファンドの投資対象ファンドの分配金込み基準価額（米ドル建て）が値上がりしたことに加え、米ドルが対円で上昇したことなどが、当ファンドの基準価額の上昇要因となりました。

○ 運用経過

(フランクリン・テンプレートン 米国政府証券ファンド（愛称：メイフラワー号）)

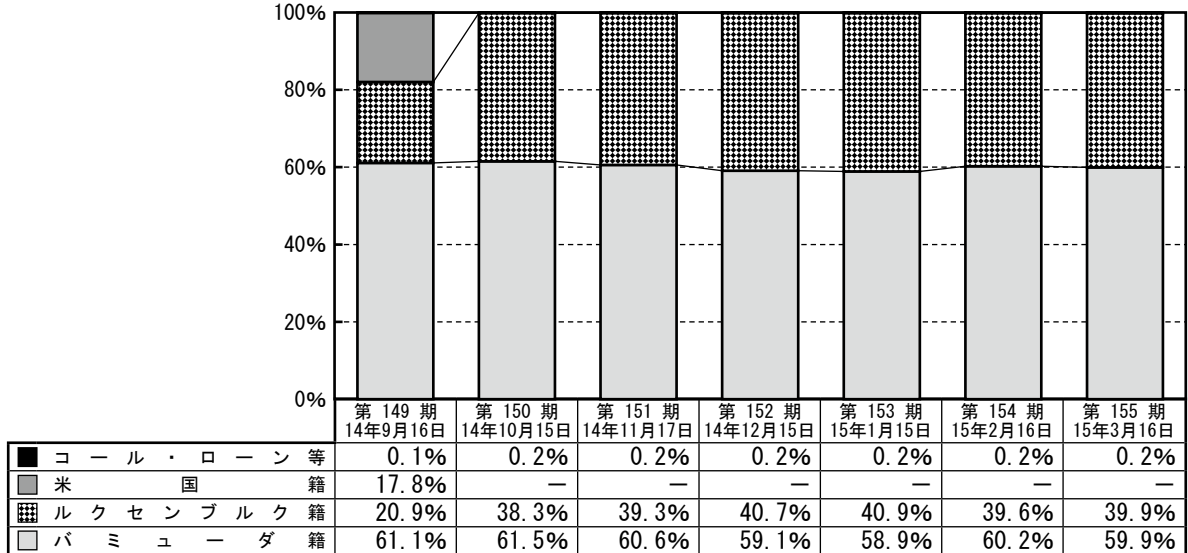
当ファンドでは、当作成期を通じてマザーファンドを高位に組入れ、当作成期末における組入比率は99.1%となりました。マザーファンドにおける当作成期末の組入比率は、「フランクリン・テンプレートン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド（バミューダ籍投資法人）」が59.9%、「フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズ・フランクリン U.S.ガバメント・ファンド（ルクセンブルク籍投資法人）」が39.9%、「フランクリン U.S.ガバメント・セキュリティーズ・ファンド（米国籍投資法人）」が0%となりました。

当作成期中に投資対象ファンドのうち米国籍ファンドへの投資配分を0%としました。これは、米国における外国人投資家への税制優遇措置の継続が不透明な状況となったことを受け、米国籍



ファンドへの配分を見合わせて他の投資対象ファンドへ配分することが受益者の皆様の利益に資すると判断したためです。

当作成期中のマザーファンドの資産構成



※米国籍：フランクリン U.S.ガバメント・セキュリティーズ・ファンド
 ルクセンブルク籍：フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U.S.ガバメント・ファンド
 バミューダ籍：フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド
 ※構成比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。
 ※比率は四捨五入しておりますので、合計数字が100%にならない場合があります。

*投資対象ファンドのうち米国籍ファンドへの配分は0としています。米国における外国人投資家への税制優遇措置の継続が不透明な状況となったことを受け、マザーファンドに対する影響を勘案し、他の投資対象ファンドへ配分することが受益者の皆様の利益に資すると判断したためです。

(フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンドの投資対象ファンド)

当作成期も、独自の分析手法を用いて、証券価格が割安に推移していると判断したジニーメイ・パス・スルー証券に着目して投資を行いました。

証券化プログラム*の違いによる証券価格形成に着目した投資では、当作成期はジニーメイⅡの組入比率をジニーメイⅠの組入比率よりも高めました。

また、クーポン別の組入れでは、4.0%と5.0%のクーポン**を持つ証券の比率を引き上げ、6.0%と6.5%のクーポンを持つ証券の比率を引き下げましたが、組入れの中心は4.0%—5.0%のクーポンを持つ証券となっています。

*証券化プログラムとは、住宅ローン条件（金利、ローンの対象となる住宅等、ローンの開始日など）によって分類し、ジニーメイ・パス・スルー証券を組成していく工程のことです。ジニーメイⅠ・パス・スルー証券には、ジニーメイⅠとジニーメイⅡの2種類の証券化プログラムがあります。

**クーポンとは、証券の額面に対する単年の利息の割合です。

※上記コメントは、マザーファンドにおける投資対象ファンドの運用担当者のコメントです。

●分配金

当ファンドは、当作成期中の毎決算時に配当等収益を中心に以下の収益分配を行いました。

なお、留保された収益の運用につきましては、特に制限を設けず元本部分と同一の運用を行います。

第 150 期 2014年10月15日	第 151 期 2014年11月17日	第 152 期 2014年12月15日	第 153 期 2015年1月15日	第 154 期 2015年2月16日	第 155 期 2015年3月16日	当作成期間合計
13円	14円	14円	14円	14円	14円	83円

(注) 各期の分配金の金額は1万口当たり、税引前です。

●市場見通しと今後の運用方針

(フランクリン・テンプレトン 米国政府証券ファンド (愛称:メイフラワー号))

当ファンドは、「運用の基本方針」に基づき、引き続きフランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンドへの投資を通じて、主に「フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド (バミューダ籍投資法人)」、「フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U.S.ガバメント・ファンド (ルクセンブルク籍投資法人)」に投資を行う方針です。「フランクリン U.S.ガバメント・セキュリティーズ・ファンド (米国籍投資法人)」への投資については、米国における外国人投資家への税制優遇の状況を勘案しながら判断してまいります。

(フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンドの投資対象ファンド)

米国国債利回りは歴史的な低水準から上昇傾向にあります。ジニーメイ・パス・スルー証券は引き続き米国国債に比べて高いインカム収入が期待できると考えています。2015年2月末時点において、米国国債利回りが5年債、10年債でそれぞれ1.5%、2.0%であったのに対し、ジニーメイ・パス・スルー証券の利回りは2.6%と相対的に魅力的な利回り水準にありました。

F R Bは、米国国債や政府系金融機関が発行・保証する住宅ローン担保証券などを買入れる量的緩和策を終了させました。しかし、今後は銀行、不動産投資信託、海外投資家や米国の資産運用会社などからの住宅ローン担保証券に対する投資意欲が高まるものと考えます。

こうした投資環境の下、ジニーメイ・パス・スルー証券は米国政府が元利金の期日通りの支払いを保証する住宅ローン担保証券であり、実質的に米国国債と同等の信用力を有すると考えられていることや、利回り水準が米国国債に比べ高いことなどから、引き続き、魅力的な投資対象であると考えています。インカムゲイン (利子等の収益) が今後とも収益の重要な部分を占めると考えており、独自の分析手法により、インカムを中心とした収益機会を有し、割安と判断されるジニーメイ・パス・スルー証券を発掘し、これらへの投資を継続する方針です。

※上記コメントは、マザーファンドにおける投資対象ファンドの運用担当者のコメントです。

引き続きメイフラワー号をご愛顧くださいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



●1万口当たりの費用明細

項目	当作成期 2014年9月17日～2015年3月16日		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	31円	0.375%	(a) 信託報酬＝〔期中の平均基準価額〕×信託報酬率、期中の平均基準価額は8,190円です。 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、開示資料作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ファンドの運用財産の保管・管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
（投信会社）	(11)	(0.139)	
（販売会社）	(18)	(0.215)	
（受託会社）	(2)	(0.022)	
(b) その他費用	0	0.003	(b) その他費用＝ $\frac{〔期中のその他費用〕}{〔期中の平均受益権口数〕}$ その他費用 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（保管費用）	(0)	(0.000)	
（監査費用）	(0)	(0.003)	
合計	31	0.378	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」等が取得できるものについては交付運用報告書の「組入上位ファンドの概要」に表示しております。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

●売買及び取引の状況（2014年9月17日から2015年3月16日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

決 算 期	第 150 期		第 155 期	
	設	定	解	約
	口	金 額	口	金 額
	数	額	数	額
	千口	千円	千口	千円
フランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド	—	—	4,733,698	7,176,081

(注) 口数・金額の単位未満は切捨てです。

●利害関係人との取引状況等（2014年9月17日から2015年3月16日まで）

当作成期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

●組入資産の明細

(1) 親投資信託残高

種 類	第 25 作 成 期 末 (2014年9月16日現在)	第 26 作 成 期 末 (2015年3月16日現在)	
	口 数	口 数	評 価 額
フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンド	千口 29,940,155	千口 25,206,456	千円 40,380,744

(注1) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) 親投資信託の2015年3月16日現在の受益権総口数は、25,206,456,934口です。

(2) フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンドの組入有価証券明細

下記は、フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンド（25,206,456千口）が組み入れている投資対象ファンドの明細です。

外国投資証券

銘 柄	第 25 作 成 期 末 (2014年9月16日現在)	第 26 作 成 期 末 (2015年3月16日現在)		
	口 数	口 数	評 価 額	
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額
(米国)	千口	千口	千米ドル	千円
フランクリン U.S.ガバメント・セキュリティーズ・ファンド	10,640	—	—	—
(ルクセンブルク)				
フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズ フランクリン U.S.ガバメント・ファンド	8,232	13,397	132,638	16,102,342
(バミューダ)				
フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・セキュリティーズII・ファンド	24,038	20,076	199,362	24,202,589
合 計	口 数 42,911	口 数 33,474	外 貨 建 金 額 332,001	邦 貨 換 算 金 額 40,304,931
	銘 柄 数 <比 率>	3	2	— <99.8%>

(注1) 外貨建資産の邦貨換算は、当作成期末のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。(1米ドル=121.40円)

(注2) 邦貨換算金額欄の<>内は、マザーファンドの純資産総額（40,380,994,931千円）に対する外国投資証券の比率です。

(注3) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

●投資信託財産の構成

(2015年3月16日現在)

項 目	第 26 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンド	千円 40,380,744	% 98.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	634,855	1.5
投 資 信 託 財 産 総 額	41,015,599	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) 当作成期末におけるフランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンドの外貨建純資産（40,380,994千円）の投資信託財産総額（40,415,593千円）に対する比率は99.9%です。

(注3) 外貨建資産の評価額は、当作成期末のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。(1米ドル=121.40円)



●資産、負債、元本及び基準価額の状況

	(2014年10月15日)	(2014年11月17日)	(2014年12月15日)	(2015年1月15日)	(2015年2月16日)	(2015年3月16日)現在
項 目	第150期末	第151期末	第152期末	第153期末	第154期末	第155期末
(A) 資 産	41,242,890,368円	43,466,365,971円	42,598,045,528円	41,404,418,574円	41,204,498,173円	41,015,599,916円
コール・ローン等	611,908,825	895,131,427	664,359,635	559,639,883	464,252,545	634,855,735
フランクリン・テンブルトン 米国政府証券マザーファンド(詳細)	40,630,981,208	42,571,234,299	41,933,685,712	40,844,778,538	40,383,200,501	40,380,744,008
未 収 入 金	—	—	—	—	357,045,000	—
未 収 利 息	335	245	181	153	127	173
(B) 負 債	172,811,825	501,564,131	295,599,514	183,575,937	310,265,859	278,582,689
未 払 収 益 分 配 金	70,373,515	73,096,048	70,640,402	69,436,371	68,240,057	66,547,999
未 払 解 約 金	77,081,558	399,638,720	199,801,437	86,797,360	214,574,991	188,185,764
未 払 信 託 報 酬	25,173,486	28,620,976	24,976,413	27,144,784	27,251,964	23,676,024
その他未払費用	183,266	208,387	181,262	197,422	198,847	172,902
(C) 純資産総額(A-B)	41,070,078,543	42,964,801,840	42,302,446,014	41,220,842,637	40,894,232,314	40,737,017,227
元 本	54,133,473,818	52,211,463,508	50,457,430,330	49,597,407,900	48,742,898,020	47,534,285,296
次 期 繰 越 損 益 金	△13,063,395,275	△ 9,246,661,668	△ 8,154,984,316	△ 8,376,565,263	△ 7,848,665,706	△ 6,797,268,069
(D) 受 益 権 総 口 数	54,133,473,818口	52,211,463,508口	50,457,430,330口	49,597,407,900口	48,742,898,020口	47,534,285,296口
1万円当たり基準価額(C/D)	7,587円	8,229円	8,384円	8,311円	8,390円	8,570円

●損益の状況

	第150期 (自2014年9月17日 至2014年10月15日)	第151期 (自2014年10月16日 至2014年11月17日)	第152期 (自2014年11月18日 至2014年12月15日)	第153期 (自2014年12月16日 至2015年1月15日)	第154期 (自2015年1月16日 至2015年2月17日)	第155期 (自2015年2月18日 至2015年3月16日)
項 目	第 150 期	第 151 期	第 152 期	第 153 期	第 154 期	第 155 期
(A) 配 当 等 収 益	9,518円	6,565円	4,651円	3,907円	4,035円	4,093円
受 取 利 息	9,518	6,565	4,651	3,907	4,035	4,093
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	387,637,058	3,450,949,963	875,408,299	△ 264,042,083	479,100,056	947,027,845
売 買 益	408,543,698	3,532,149,563	904,776,108	6,646,955	484,530,631	957,897,546
売 買 損	△ 20,906,640	△ 81,199,600	△ 29,367,809	△ 270,689,038	△ 5,430,575	△ 10,869,701
(C) 信 託 報 酬 等	△ 25,356,752	△ 28,829,363	△ 25,157,675	△ 27,342,206	△ 27,450,811	△ 23,848,926
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	362,289,824	3,422,127,165	850,255,275	△ 291,380,382	451,653,280	923,183,012
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 2,003,769,307	△ 1,647,411,533	1,640,835,437	2,373,351,659	1,975,268,714	2,299,079,124
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金 (配当等相当額)	△11,351,542,277 (118,948,743)	△10,948,281,252 (116,536,736)	△10,575,434,626 (116,363,867)	△10,389,100,169 (120,291,705)	△10,207,347,643 (121,352,069)	△ 9,952,982,206 (119,490,856)
(G) 計 (D+E+F)	△12,993,021,760 (△11,470,491,020)	△ 9,173,565,620 (△11,064,817,988)	△ 8,084,343,914 (△10,691,798,493)	△ 8,307,128,892 (△10,509,391,874)	△ 7,780,425,649 (△10,328,699,712)	△ 6,730,720,070 (△10,072,473,062)
(H) 収 益 分 配 金	△ 70,373,515	△ 73,096,048	△ 70,640,402	△ 69,436,371	△ 68,240,057	△ 66,547,999
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△13,063,395,275 (△11,351,542,277)	△ 9,246,661,668 (△10,948,281,252)	△ 8,154,984,316 (△10,575,434,626)	△ 8,376,565,263 (△10,389,100,169)	△ 7,848,665,706 (△10,207,347,643)	△ 6,797,268,069 (△ 9,952,982,206)
追 加 信 託 差 損 益 金 (配当等相当額)	(119,004,504)	(116,664,273)	(116,432,551)	(120,382,219)	(121,383,241)	(119,509,023)
(売買損益相当額)	(△11,470,546,781)	(△11,064,945,525)	(△10,691,867,177)	(△10,509,482,388)	(△10,328,730,884)	(△10,072,491,229)
分 配 準 備 積 立 金	821,424,671	1,701,619,584	2,420,450,310	2,363,036,140	2,358,681,937	3,155,714,137
繰 越 損 益 金	△ 2,533,277,669	—	—	△ 350,501,234	—	—

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項> (当運用報告書作成時点では監査未了です。)

(貸借対照表関係)

- (1) 当ファンドの第150期首元本額は55,727,717,523円、当作成期中(第150期から第155期)における追加設定元本額は521,072,086円、同期中における一部解約元本額は、8,714,504,313円です。
- (2) 貸借対照表上の純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は6,797,268,069円です。
- (3) 1口当たり純資産額は、第150期0.7587円、第151期0.8229円、第152期0.8384円、第153期0.8311円、第154期0.8390円、第155期0.8570円です。

(損益及び剰余金計算書関係)

分配金の計算過程

(1) 第150期(自2014年9月17日 至2014年10月15日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(80,585,385円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(119,004,504円)及び分配準備積立金(811,212,801円)より、分配対象収益は、1,010,802,690円であり、うち70,373,515円(一万口当たり13円)を分配金額としております。

(2) 第151期(自2014年10月16日 至2014年11月17日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(85,398,640円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額(898,814,256円)、信託約款に規定される収益調整金(116,664,273円)及び分配準備積立金(790,502,736円)より、分配対象収益は、1,891,379,905円であり、うち73,096,048円(一万口当たり14円)を分配金額としております。

(3) 第152期(自2014年11月18日 至2014年12月15日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(90,397,965円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額(759,857,310円)、信託約款に規定される収益調整金(116,432,551円)及び分配準備積立金(1,640,835,437円)より、分配対象収益は、2,607,523,263円であり、うち70,640,402円(一万口当たり14円)を分配金額としております。

(4) 第153期(自2014年12月16日 至2015年1月15日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(59,120,852円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(120,382,219円)及び分配準備積立金(2,373,351,659円)より、分配対象収益は、2,552,854,730円であり、うち69,436,371円(一万口当たり14円)を分配金額としております。

(5) 第154期(自2015年1月16日 至2015年2月16日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(75,766,583円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額(31,875,709円)、信託約款に規定される収益調整金(121,383,241円)及び分配準備積立金(2,319,279,702円)より、分配対象収益は、2,548,305,235円であり、うち68,240,057円(一万口当たり14円)を分配金額としております。

(6) 第155期(自2015年2月17日 至2015年3月16日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(83,711,823円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額(839,471,189円)、信託約款に規定される収益調整金(119,509,023円)及び分配準備積立金(2,299,079,124円)より、分配対象収益は、3,341,771,159円であり、うち66,547,999円(一万口当たり14円)を分配金額としております。



＜各決算期の分配金実績＞（1万口当たり、税引前）

第1期 '02. 5月 43円	第2期 '02. 6月 42円	第3期 '02. 7月 39円	第4期 '02. 8月 40円	第5期 '02. 9月 40円	第6期 '02. 10月 41円	第7期 '02. 11月 36円	第8期 '02. 12月 37円	第9期 '03. 1月 36円	第10期 '03. 2月 36円	第11期 '03. 3月 37円	第12期 '03. 4月 38円
第13期 '03. 5月 37円	第14期 '03. 6月 38円	第15期 '03. 7月 38円	第16期 '03. 8月 38円	第17期 '03. 9月 38円	第18期 '03. 10月 35円	第19期 '03. 11月 35円	第20期 '03. 12月 35円	第21期 '04. 1月 34円	第22期 '04. 2月 34円	第23期 '04. 3月 36円	第24期 '04. 4月 35円
第25期 '04. 5月 37円	第26期 '04. 6月 35円	第27期 '04. 7月 35円	第28期 '04. 8月 34円	第29期 '04. 9月 34円	第30期 '04. 10月 34円	第31期 '04. 11月 33円	第32期 '04. 12月 33円	第33期 '05. 1月 32円	第34期 '05. 2月 33円	第35期 '05. 3月 32円	第36期 '05. 4月 33円
第37期 '05. 5月 33円	第38期 '05. 6月 33円	第39期 '05. 7月 34円	第40期 '05. 8月 33円	第41期 '05. 9月 33円	第42期 '05. 10月 34円	第43期 '05. 11月 35円	第44期 '05. 12月 35円	第45期 '06. 1月 34円	第46期 '06. 2月 35円	第47期 '06. 3月 35円	第48期 '06. 4月 35円
第49期 '06. 5月 32円	第50期 '06. 6月 34円	第51期 '06. 7月 34円	第52期 '06. 8月 34円	第53期 '06. 9月 35円	第54期 '06. 10月 35円	第55期 '06. 11月 35円	第56期 '06. 12月 35円	第57期 '07. 1月 35円	第58期 '07. 2月 36円	第59期 '07. 3月 34円	第60期 '07. 4月 35円
第61期 '07. 5月 35円	第62期 '07. 6月 36円	第63期 '07. 7月 36円	第64期 '07. 8月 34円	第65期 '07. 9月 33円	第66期 '07. 10月 34円	第67期 '07. 11月 32円	第68期 '07. 12月 33円	第69期 '08. 1月 32円	第70期 '08. 2月 32円	第71期 '08. 3月 29円	第72期 '08. 4月 30円
第73期 '08. 5月 31円	第74期 '08. 6月 31円	第75期 '08. 7月 30円	第76期 '08. 8月 31円	第77期 '08. 9月 30円	第78期 '08. 10月 29円	第79期 '08. 11月 27円	第80期 '08. 12月 25円	第81期 '09. 1月 22円	第82期 '09. 2月 24円	第83期 '09. 3月 27円	第84期 '09. 4月 27円
第85期 '09. 5月 22円	第86期 '09. 6月 23円	第87期 '09. 7月 22円	第88期 '09. 8月 25円	第89期 '09. 9月 22円	第90期 '09. 10月 21円	第91期 '09. 11月 24円	第92期 '09. 12月 21円	第93期 '10. 1月 24円	第94期 '10. 2月 21円	第95期 '10. 3月 23円	第96期 '10. 4月 25円
第97期 '10. 5月 22円	第98期 '10. 6月 21円	第99期 '10. 7月 20円	第100期 '10. 8月 19円	第101期 '10. 9月 19円	第102期 '10. 10月 19円	第103期 '10. 11月 19円	第104期 '10. 12月 20円	第105期 '11. 1月 19円	第106期 '11. 2月 18円	第107期 '11. 3月 17円	第108期 '11. 4月 19円
第109期 '11. 5月 17円	第110期 '11. 6月 16円	第111期 '11. 7月 16円	第112期 '11. 8月 15円	第113期 '11. 9月 14円	第114期 '11. 10月 14円	第115期 '11. 11月 15円	第116期 '11. 12月 17円	第117期 '12. 1月 14円	第118期 '12. 2月 16円	第119期 '12. 3月 17円	第120期 '12. 4月 13円
第121期 '12. 5月 13円	第122期 '12. 6月 12円	第123期 '12. 7月 12円	第124期 '12. 8月 12円	第125期 '12. 9月 11円	第126期 '12. 10月 11円	第127期 '12. 11月 11円	第128期 '12. 12月 12円	第129期 '13. 1月 13円	第130期 '13. 2月 14円	第131期 '13. 3月 14円	第132期 '13. 4月 14円
第133期 '13. 5月 14円	第134期 '13. 6月 12円	第135期 '13. 7月 12円	第136期 '13. 8月 12円	第137期 '13. 9月 12円	第138期 '13. 10月 12円	第139期 '13. 11月 12円	第140期 '13. 12月 13円	第141期 '14. 1月 13円	第142期 '14. 2月 13円	第143期 '14. 3月 13円	第144期 '14. 4月 13円
第145期 '14. 5月 13円	第146期 '14. 6月 13円	第147期 '14. 7月 13円	第148期 '14. 8月 13円	第149期 '14. 9月 13円	第150期 '14. 10月 13円	第151期 '14. 11月 14円	第152期 '14. 12月 14円	第153期 '15. 1月 14円	第154期 '15. 2月 14円	第155期 '15. 3月 14円	設定以来合計 3,993円

●分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税引前)

	第150期 2014年9月17日～ 2014年10月15日	第151期 2014年10月16日～ 2014年11月17日	第152期 2014年11月18日～ 2014年12月15日	第153期 2014年12月16日～ 2015年1月15日	第154期 2015年1月16日～ 2015年2月16日	第155期 2015年2月17日～ 2015年3月16日
当期分配金	13	14	14	14	14	14
(対基準価額比率)	0.171%	0.170%	0.167%	0.168%	0.167%	0.163%
当期の収益	13	14	14	11	14	14
当期の収益以外	—	—	—	2	—	—
翌期繰越分配対象額	173	348	502	500	508	689

(注1) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

◇分配金の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」があります。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

<信託約款変更のお知らせ>

- ・平成26年12月1日より施行された金融商品取引法等の一部を改正する法律に従い、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により受益者に提供する規定を新設する約款変更を行いました。(変更日：2014年12月8日)

フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンド

《第13期》

決算日：2015年3月16日

(計算期間：2014年3月18日～2015年3月16日)

《運用報告書》

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	この投資信託は、信託財産の着実な成長と安定的な収益の確保を図ることを目指してファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行うことを基本方針とします。 主として米国ジニーメイ・パス・スルー証券（政府抵当金庫パス・スルー証券）等の米国高格付け証券に実質的な投資を行います。
主要投資対象	主として「フランクリン U.S.ガバメント・セキュリティーズ・ファンド（米国籍投資法人）」、「フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U.S.ガバメント・ファンド（ルクセンブルク籍投資法人）」および「フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド（バミューダ籍投資法人）」等への投資を通じて、米国ジニーメイ・パス・スルー証券等の米国高格付け証券に実質的な投資を行います。
組入制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

●最近5期の運用実績

決算期	基準価額		フランクリン U. S. ガバメント・ セキュリティーズ・ ファンド (米国籍投資法人) 組入比率	フランクリン・ テンプレトン・ インベストメント・ ファンズ -フランクリン U. S. ガバメント・ ファンド (ルクセンブルク籍投資法人) 組入比率	フランクリン・ テンプレトン U. S. ガバメント・ セキュリティーズⅡ・ ファンド (バミューダ籍投資法人) 組入比率	純資産総額
	円	騰落率				
第9期(2011年3月15日)	9,642	△ 5.3	20.8	29.9	49.2	85,695
第10期(2012年3月15日)	10,467	8.6	21.6	21.8	56.4	66,890
第11期(2013年3月15日)	12,177	16.3	21.4	21.2	57.3	57,799
第12期(2014年3月17日)	12,977	6.6	20.3	22.8	56.9	43,682
第13期(2015年3月16日)	16,020	23.4	—	39.9	59.9	40,380

(注) 当ファンドの投資対象ファンドは、特定のベンチマークを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドもベンチマークを設定しておりません。

●当期中の基準価額の推移

年月日	基準価額		フランクリン U. S. ガバメント・ セキュリティーズ・ ファンド (米国籍投資法人) 組入比率	フランクリン・ テンプレトン・ インベストメント・ ファンズ -フランクリン U. S. ガバメント・ ファンド (ルクセンブルク籍投資法人) 組入比率	フランクリン・ テンプレトン U. S. ガバメント・ セキュリティーズⅡ・ ファンド (バミューダ籍投資法人) 組入比率
	円	騰落率			
(期首) 2014年3月17日	12,977	—	20.3	22.8	56.9
3月末	13,137	1.2	20.3	22.4	57.2
4月末	13,138	1.2	20.7	21.1	58.1
5月末	13,129	1.2	20.6	21.0	58.3
6月末	13,103	1.0	20.5	20.5	58.9
7月末	13,252	2.1	20.4	20.8	58.7
8月末	13,448	3.6	19.3	20.6	60.0
9月末	14,208	9.5	—	37.8	62.1
10月末	14,282	10.1	—	38.6	61.2
11月末	15,506	19.5	—	39.8	60.0
12月末	15,822	21.9	—	41.3	58.5
2015年1月末	15,563	19.9	—	40.6	59.2
2月末	15,738	21.3	—	39.8	60.1
(期末) 2015年3月16日	16,020	23.4	—	39.9	59.9

(注) 騰落率は期首比です。



●当期中の市場環境（2014年3月18日～2015年3月16日）

（米国金利とジニーメイ・パス・スルー証券市場）

当期の米国10年国債利回りは期首の2.6%台半ばから当期末には2.1%台半ばまで低下（債券価格は上昇）しました。

期首から2014年8月末にかけて、米国景気が市場予想に反して鈍化したことにより早期利上げ観測が後退したことや中国経済が減速したこと、更にはウクライナ情勢の緊迫化など地政学リスクが高まったことから、米国10年国債利回りは2.4%を下回る水準まで低下しました。しかし、9月には、米国景気が市場予想より堅調となったことやロシア・ウクライナ両首脳が停戦枠組みで合意したことを受け、一時2.6%を超える水準まで上昇しました。

その後、2015年1月半末にかけて、米国10年国債利回りは断続的に低下し1月末には1.6%台半ばの水準となりました。この背景として、経済面では、米国景気が鈍化したことに加えIMFが世界経済の成長予想を下方修正したことや原油価格が大幅に低下したことなどが挙げられます。また政治面では、イラク情勢など地政学リスクが高まったことや2015年1月に実施されたギリシャの総選挙で急進左派勢力連合が圧勝したことが挙げられます。こうした懸念から投資家のリスク回避行動により資金が米国債券市場に流入したことで長期金利は低下しました。

当期末にかけては、ギリシャ情勢をめぐる懸念が和らいだことのほか、原油価格の落ち着きが好感され世界的に株価が上昇したことや米国景気が堅調なことを受け、米連邦準備理事会（FRB）の利上げ時期に関する前倒し観測が台頭したことから、米国10年国債利回りは上昇し2.1%台前半で当期を終えました。

ジニーメイ・パス・スルー証券市場は上昇しました。代表的な住宅ローン金利のひとつである米国連邦住宅貸付抵当公社の30年ローン金利（固定）の平均値は、当期首の4.3%台前半から低下し当期末には3.7%台後半に低下しました。住宅ローン金利が歴史的な低水準となるなか、金利上昇に備えた動きから住宅ローンの期限前返済による借り換えは増加しました。

（外国為替市場）

米ドルの対円相場は、期首の1ドル101.42円から19.98円の円安ドル高となる1ドル121.40円で当期末を迎えました。

期首から2014年7月末まで、FRBの金融政策に対する不透明感、欧州景気や欧州中央銀行（ECB）の金融政策動向、そしてウクライナやイラク情勢など地政学リスクなどを背景にドル円相場は101円台から102円台後半の狭い範囲での動きに終始しました。しかし、8月半ば以降は、FRBの早期利上げ観測などから米長期金利が上昇したことや年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）改革が前進し外債投資が増加するとの思惑から米ドルの対円相場は、9月末には1ドル110円近辺まで買われました。

その後、10月に一時1ドル106円を下回る水準まで下落しましたが、10月末に日本銀行が追加的な金融緩和策を決定したことやGPIFが海外資産の運用比率の引き上げを発表したことなどからドル高円安が一気に進み、ドル円相場は12月上旬に1ドル121円台半ばまで急上昇しました。

2015年1月以降は一時ドル安となる局面もありましたが、スイス中央銀行が対ユーロで設定していたスイスフランの上限を撤廃し、また、ECBが量的緩和策の導入を決定したためユーロが相対的に軟調となるなか、大幅に下落していた原油価格が落ち着いてきたことなどから米ドルの対円相場は上昇し1ドル120円を挟んだ展開となりました。米ドルの対円相場は1ドル121.40円で当期を終えました。



※為替レートは、三菱東京UFJ銀行対顧客電信売買相場の仲値です。

●当期中の運用経過（2014年3月18日～2015年3月16日）

○基準価額の推移と主な変動要因

基準価額は、期首の12,977円から3,043円値上がりして期末には16,020円となりました。





(基準価額の変動要因)

ジニーメイ・パス・スルー証券が上昇し投資対象ファンド（米ドル建て）が値上がりしたことに加え、当期末の米ドルの対円相場が1ドル121.40円と期首の1ドル101.42円に比べ19.98円（19.7%）のドル高円安となったことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

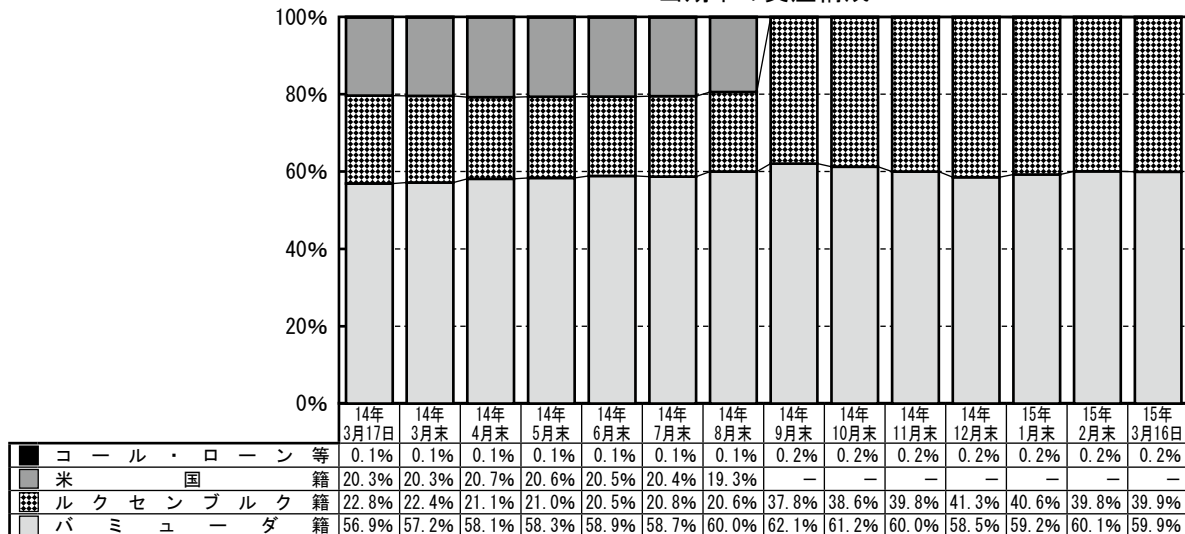
○運用経過

(マザーファンド)

ファンドでは、当期を通じてマザーファンドを高位に組入れ、当期末における組入比率は99.1%となりました。マザーファンドにおける当期末の組入比率は、「フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド（バミューダ籍投資法人）」が59.9%、「フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U.S.ガバメント・ファンド（ルクセンブルク籍投資法人）」が39.9%、「フランクリン U.S.ガバメント・セキュリティーズ・ファンド（米国籍投資法人）」が0%となりました。

当期中に投資対象ファンドのうち米国籍ファンドへの投資配分を0%としました。これは、米国における外国人投資家への税制優遇措置の継続が不透明な状況となったことを受け、米国籍ファンドへの配分を見合わせて他の投資対象ファンドへ配分することが受益者の皆様の利益に資すると判断したためです。

当期中の資産構成



※米国籍：フランクリン U.S.ガバメント・セキュリティーズ・ファンド
ルクセンブルク籍：フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U.S.ガバメント・ファンド
バミューダ籍：フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド

※構成比率は純資産総額に対する比率です。
※比率は四捨五入しておりますので、合計数字が100%にならない場合があります。

※投資対象ファンドのうち米国籍ファンドへの配分は0としています。米国における外国人投資家への税制優遇措置の継続が不透明な状況となったことを受け、マザーファンドに対する影響を勘案し、他の投資対象ファンドへ配分することが受益者の皆様の利益に資すると判断したためです。

(投資対象ファンド)

当期も、独自の分析手法を用いて証券価格が割安に推移していると判断したジニーメイ・パス・スルー証券に着目して投資を行いました。

証券化プログラム*の違による証券価格形成に着目した投資では、当期はジニーメイⅡの組入比率をジニーメイⅠの組入比率よりも高めました。

また、クーポン別の組入れでは、3.5%–5.0%のクーポン**を持つ証券の比率を引き上げ、5.0%と6.5%のクーポンを持つ証券の比率を引き下げましたが、組入れの中心は4.0%–5.0%のクーポンを持つ証券となっています。

*証券化プログラムとは、住宅ローンを条件（金利、ローンの対象となる住宅等、ローンの開始日など）によって分類し、ジニーメイ・パス・スルー証券を組成していく工程のことです。ジニーメイ・パス・スルー証券には、ジニーメイⅠとジニーメイⅡの2種類の証券化プログラムがあります。

**クーポンとは、証券の額面に対する単年の利息の割合です。

※上記コメントは、マザーファンドにおける投資対象ファンドの運用担当者のコメントです。

●市場見通しと今後の運用方針

(マザーファンド)

ファンドは、「運用の基本方針」に基づき、主に「フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド（バミューダ籍投資法人）」、「フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズフランクリン U.S.ガバメント・ファンド（ルクセンブルク籍投資法人）」に投資を行う方針です。「フランクリン U.S.ガバメント・セキュリティーズ・ファンド（米国籍投資法人）」については米国における外国人投資家への税制優遇の状況を勘案しながら判断してまいります。

また、投資対象ファンド全体の組入比率は高位を維持します。為替ヘッジは行わないことを原則とします。

(投資対象ファンド)

米国国債利回りは歴史的な低水準から上昇傾向にあります。ジニーメイ・パス・スルー証券は引き続き米国国債に比べ高いインカム収入が期待できると考えています。2015年2月末時点において、米国国債利回りが5年債、10年債でそれぞれ1.5%、2.0%であったのに対し、ジニーメイ・パス・スルー証券の利回りは2.6%と相対的に魅力的な利回り水準にありました。

F R Bは、米国国債や政府系金融機関が発行・保証する住宅ローン担保証券などを買入れる量的緩和策を終了させました。しかし、今後は銀行、不動産投資信託、海外投資家や米国の資産運用会社などからの住宅ローン担保証券に対する投資意欲が高まるものと考えます。

こうした投資環境の下、ジニーメイ・パス・スルー証券は米国政府が元利金の期日通りの支払いを保証する住宅ローン担保証券であり、実質的に米国国債と同等の信用力を有すると考えられていることや、利回り水準が米国国債に比べ高いことなどから、引き続き、魅力的な投資対象であると考えています。インカムゲイン（利子等の収益）が今後とも収益の重要な部分を占めると考えており、独自の分析手法により、インカムを中心とした収益機会を有し、割安と判断されるジニーメイ・パス・スルー証券を発掘し、これらへの投資を継続する方針です。

※上記コメントは、投資対象ファンドの運用担当者のコメントです。



●1万口当たりの費用明細

項目	当期 2014年3月18日～2015年3月16日		項目の概要
	金額	比率	
その他費用 (保管費用)	0 (0)	0.000 (0.000)	期中の平均基準価額は14,193円です。 $\text{その他費用} = \frac{\text{[期中のその他費用]}}{\text{[期中の平均受益権口数]}}$ その他費用 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合計	0	0.000	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」等が取得できるものについては交付運用報告書の「組入上位ファンドの概要」に表示しております。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

●売買及び取引の状況(2014年3月18日から2015年3月16日まで)

外国投資証券

			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
外国	米 国	フランクリン U.S.ガバメント・セキュリティーズ・ファンド	千口 230	千米ドル 1,505	千口 13,550	千米ドル 88,162
	ルクセンブルク	フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U.S.ガバメント・ファンド	6,709	66,099	3,233	32,000
	バミューダ	フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・セキュリティーズII・ファンド	554	5,486	5,347	53,000

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 口数・金額の単位未満は切捨てです。

●利害関係人との取引状況等(2014年3月18日から2015年3月16日まで)

当期中の利害関係人との取引状況

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

●ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建外国投資証券の明細

ファンド名	期首(前期末) (2014年3月17日現在)	当期 (2015年3月16日現在)			末
	口数	口数	評価額		比率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(米国)	千口	千口	千米ドル	千円	%
フランクリン U.S.ガバメント・セキュリティーズ・ファンド	13,319	—	—	—	—
(ルクセンブルク)					
フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズ-フランクリン U.S.ガバメント・ファンド	9,921	13,397	132,638	16,102,342	39.9
(バミューダ)					
フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・セキュリティーズ II ・ファンド	24,869	20,076	199,362	24,202,589	59.9
合計	口数・金額 銘柄数 <比率>	48,111 3	33,474 2	332,001 —	40,304,931 — <99.8%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。(1米ドル=121.40円)

(注2) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

●投資信託財産の構成

(2015年3月16日現在)

項目	当期	末
	評価額	比率
外国投資証券	千円 40,304,931	% 99.7
コール・ローン等、その他	110,662	0.3
投資信託財産総額	40,415,593	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) 当期末における外貨建て純資産(40,380,994千円)の投資信託財産総額(40,415,593千円)に対する比率は99.9%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。(1米ドル=121.40円)



●資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2015年3月16日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	40,415,593,056円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	76,063,166
投 資 証 券 (評価額)	40,304,931,765
未 収 配 当 金	34,598,125
(B) 負 債	34,598,125
未 払 金	34,598,125
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	40,380,994,931
元 本	25,206,456,934
次 期 繰 越 損 益 金	15,174,537,997
(D) 受 益 権 総 口 数	25,206,456,934口
1万口当たり基準価額(C/D)	16,020円

●損益の状況

(自2014年3月18日 至2015年3月16日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	1,214,066,512円
受 取 配 当 金	1,214,066,512
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	7,596,339,434
売 買 益	7,711,482,144
売 買 損	△ 115,142,710
(C) 信 託 報 酬 等	△ 131,112
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	8,810,274,834
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	10,021,120,595
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 3,656,857,432
(G) 計 (D + E + F)	15,174,537,997
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	15,174,537,997

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等とは、海外保管銀行の費用です。

(注3) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

(貸借対照表関係)

(1) 期首元本額は33,661,242,502円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は8,454,785,568円です。

(2) 当ファンドの期末元本額 25,206,456,934円

元本の内訳

フランクリン・テンブルトン米国政府証券ファンド 25,206,456,934円

(3) 期末における1口当たり純資産額は1.6020円です。

フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズー フランクリン U.S.ガバメント・ファンドの運用状況について

2014年6月30日決算

(計算期間：2013年7月1日～2014年6月30日)

フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U.S.ガバメント・ファンドは、フランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド（ファンド・オブ・ファンズ形式）が投資対象とする外国投資法人です。

当ファンドの決算は、年1回（毎年6月末）です。したがって、直前の計算期末である2014年6月30日時点までの運用状況をお知らせします。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

設定形態	ルクセンブルク籍投資法人／オープンエンド型／米ドル建て
投資目的	金利収入と元本の安全性の確保を投資目的とします。
主な投資戦略	主として米国政府および米国政府機関が発行あるいは保証する証券に投資を行うことにより、投資目的を達成することを企図しています。 * 資金動向、市況動向によっては、上記のような運用ができない場合があります。
関係法人	管理会社：フランクリン・テンプルトン・インターナショナル・サービシーズ・エス・エー・アール・エル（ルクセンブルク） 運用会社：フランクリン・アドバイザーズ・インク（米国） 保管銀行：JPモルガン・バンク・ルクセンブルク・エス・エー（ルクセンブルク）
費用 (Class I(Mdis))	申込手数料：かかりません 運用報酬：年率0.40%、このほかに管理費用等がかかります。



フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズー
フランクリン U.S.ガバメント・ファンド
損益および純資産変動計算書
2014年6月30日に終了した計算期間

(米ドル)

期首純資産	1, 577, 666, 522
収益	
債券利息 (税引後)	41, 460, 926
預金利息	36
収益合計	41, 460, 962
費用	
運用報酬	6, 911, 710
管理会社報酬	2, 701, 733
保管銀行報酬	32, 371
監査費用	10, 847
その他費用	5, 348, 213
費用合計	15, 004, 874
関係法人からの費用戻入	(165, 310)
純費用合計	14, 839, 564
投資純収益	26, 621, 398
投資有価証券売買に係る実現純損失	(527, 743)
外国為替先渡契約に係る実現純利益	5, 676, 281
外国為替取引に係る実現純損失	(5, 606)
当期実現利益	31, 764, 330

投資未実現評価益	2,754,424
外国為替先渡契約未実現評価益	1,666,003
外国為替取引未実現評価益	1,666,012
	<hr/>
運用による純資産の増加額	37,850,769
元本異動等	
追加信託設定額	313,682,526
信託解約額	(996,210,026)
追加設定・一部解約時の収益調整	(1,235,272)
	<hr/>
	(683,762,772)
分配金額	(26,032,568)
	<hr/>
元本異動による純資産の増加額	(709,795,340)
期末純資産	905,721,951
	<hr/> <hr/>



数量／額面	銘柄	国コード	取引通貨	評価額 (米ドル)	対純資産 比率 (%)
その他規制市場で取引される譲渡可能有価証券					
公社債					
アセットバック証券					
122,102,988	GNMA, SF, 5.00%, 07/15/33 - 05/15/40	USA	USD	135,319,248	14.95
125,520,269	GNMA, II, SF, 3.50%, 08/20/42 - 08/20/43	USA	USD	131,021,003	14.47
96,750,591	GNMA, II, SF, 4.50%, 05/20/33 - 02/20/44	USA	USD	105,981,453	11.70
88,680,413	GNMA, II, SF, 4.00%, 05/20/40 - 02/20/44	USA	USD	95,150,306	10.51
84,973,432	GNMA, SF, 4.50%, 03/15/39 - 04/15/41	USA	USD	93,035,735	10.27
53,952,059	GNMA, SF, 6.00%, 10/15/23 - 02/15/38	USA	USD	61,831,601	6.83
52,996,917	GNMA, SF, 5.50%, 11/15/28 - 11/15/39	USA	USD	59,621,289	6.58
39,961,739	GNMA, SF, 4.00%, 11/15/40 - 09/15/41	USA	USD	42,767,115	4.72
33,526,265	GNMA, II, SF, 5.00%, 10/20/32 - 02/20/41	USA	USD	37,231,719	4.11
29,927,677	GNMA, II, SF, 5.50%, 05/20/34 - 01/20/36	USA	USD	33,649,534	3.72
27,685,793	GNMA, II, SF, 6.00%, 06/20/34 - 07/20/39	USA	USD	31,419,151	3.47
21,723,550	GNMA, SF, 6.50%, 07/15/23 - 07/15/38	USA	USD	24,942,218	2.75
10,051,189	GNMA, II, SF, 6.50%, 03/20/27 - 10/20/38	USA	USD	11,529,968	1.27
7,300,061	GNMA, SF, 7.00%, 03/15/22 - 09/15/32	USA	USD	8,093,285	0.89
5,509,314	GNMA, SF, 3.50%, 04/15/43 - 05/15/43	USA	USD	5,741,753	0.63
4,192,787	GNMA, II, SF, 7.00%, 05/20/26 - 03/20/33	USA	USD	4,942,166	0.55
3,375,693	GNMA, SF, 7.50%, 02/15/17 - 08/15/33	USA	USD	3,916,560	0.43
2,655,034	GNMA, SF, 8.00%, 11/15/16 - 12/15/30	USA	USD	2,948,165	0.33
2,011,208	GNMA, II, SF, 7.50%, 12/20/17 - 09/20/32	USA	USD	2,424,054	0.27
1,881,389	GNMA, 6.00%, 11/15/28 - 05/20/34	USA	USD	2,109,784	0.23
1,036,905	GNMA, II, SF, 8.00%, 06/20/22 - 07/20/31	USA	USD	1,230,182	0.14
941,024	GNMA, SF, 8.50%, 06/15/16 - 06/15/28	USA	USD	979,609	0.11
633,199	GNMA, SF, 9.00%, 08/15/16 - 03/15/25	USA	USD	748,483	0.08
568,138	GNMA, 6.50%, 04/20/34	USA	USD	620,828	0.07
312,910	GNMA, 7.50%, 04/15/31	USA	USD	348,944	0.04
293,650	GNMA, SF, 10.00%, 02/15/16 - 03/15/25	USA	USD	324,070	0.04
213,178	GNMA, II, SF, 8.50%, 11/20/21 - 05/20/29	USA	USD	248,424	0.03
102,673	GNMA, SF, 9.50%, 08/15/16 - 06/15/25	USA	USD	106,265	0.01
95,164	GNMA, 8.00%, 05/20/17 - 01/15/31	USA	USD	101,831	0.01
83,439	GNMA, II, SF, 9.50%, 12/20/15 - 07/20/25	USA	USD	90,853	0.01
58,001	GNMA, II, 8.00%, 03/20/17 - 03/20/27	USA	USD	64,346	0.01
39,059	GNMA, SF, 8.625%, 10/15/18	USA	USD	42,647	0.00

フランクリン・テンブルトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U.S.ガバメント・ファンド

数量/額面	銘柄	国コード	取引通貨	評価額 (米ドル)	対純資産 比率 (%)
33,870	GNMA, II, 9.00%, 05/20/16 - 06/20/17	USA	USD	34,064	0.00
27,554	GNMA, 9.50%, 10/15/18 - 11/15/21	USA	USD	31,449	0.00
20,048	GNMA, SF, 7.95%, 01/15/21	USA	USD	20,137	0.00
19,897	GNMA, SF, 7.80%, 02/15/20	USA	USD	19,982	0.00
15,865	GNMA, SF, 10.50%, 12/15/17 - 04/15/25	USA	USD	17,573	0.00
9,687	GNMA, II, SF, 9.00%, 10/20/16	USA	USD	10,204	0.00
7,179	GNMA, SF, 7.75%, 03/15/27	USA	USD	7,379	0.00
4,579	GNMA, SF, 8.30%, 07/15/17	USA	USD	4,651	0.00
4,340	GNMA, SF, 11.00%, 08/15/17 - 04/15/21	USA	USD	4,481	0.00
				898,732,509	99.23
	公社債計			898,732,509	99.23
	小計			898,732,509	99.23
	合計			898,732,509	99.23

フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・ セキュリティーズⅡ・ファンドの運用状況について

2014年9月30日決算

(計算期間：2013年10月1日～2014年9月30日)

フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンドはフランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンド（ファンド・オブ・ファンズ形式）が投資対象とする外国投資法人です。

当ファンドの決算は、年1回（毎年9月末）です。したがって、直前の計算期末である2014年9月30日時点までの運用状況をお知らせします。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

設定形態	バミューダ籍投資法人／オープンエンド型／米ドル建て
投資目的	金利収入の確保を投資目的とします。
主な投資戦略	純資産総額の少なくとも80%を米国政府証券に投資を行います。現在、実質的にその資産のすべてを米国ジニーメイ・パス・スルー証券に投資しています。 また、米国政府の十分な信頼性と信用に裏付けられたその他の米国政府の証券（例えば、ストリップス債（treasury strips）、長期国債（treasury bonds）、中期国債（treasury notes）など）にも投資することがあります。短期の運用対象には、短期の政府証券や現金が含まれます。また、米国政府発行の証券を担保として利用するレポ取引（repurchase agreements）を行うことがあります。 * 資金動向、市況動向によっては、上記のような運用ができない場合があります。
関係法人	運用会社：フランクリン・アドバイザーズ・インク（米国） 保管銀行：ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（米国）
費用	申込手数料：かかりません 運用報酬：年率0.40%、このほかに管理費用等がかかります。

損益計算書
2014年9月30日に終了した計算期間

(米ドル)

投資収益

債券利息 9,959,271

費用

運用報酬 997,823

管理事務代行報酬 249,456

名義書換事務代行報酬 100,000

保管銀行報酬 2,976

その他費用 91,267

費用合計 1,441,522

投資純収益 8,517,749

投資有価証券売買に係る実現純利益 1,523,680

投資未実現評価損失 (2,209,500)

運用による純資産の増加額 7,831,929



FRANKLIN TEMPLETON
INVESTMENTS

組入資産の明細

2014年9月30日現在

元本額 (米ドル) 評価額 (米ドル)

モーゲージ担保証券 97.3%

政府抵当金庫 (ジニーメイ) 固定金利証券 97.3%

GNMA I SF 15 Year, 6.00%, 7/20/17 - 8/20/17	286,127	296,723
GNMA I SF 15 Year, 6.50%, 5/15/18	98,331	101,987
GNMA I SF 15 Year, 7.50%, 7/15/15 - 10/15/16	256,427	260,263
GNMA I SF 30 Year, 4.00%, 10/15/40	4,518,319	4,806,600
GNMA I SF 30 Year, 4.50%, 7/15/39 - 9/15/39	1,821,531	1,978,639
GNMA I SF 30 Year, 4.50%, 11/15/39	1,185,913	1,288,201
GNMA I SF 30 Year, 4.50%, 2/15/40	1,233,903	1,343,430
GNMA I SF 30 Year, 4.50%, 9/15/40	4,897,189	5,331,908
GNMA I SF 30 Year, 4.50%, 2/15/41	3,452,674	3,758,342
GNMA I SF 30 Year, 4.50%, 4/15/41 - 6/15/41	2,132,934	2,339,435
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 4/15/33 - 5/15/33	947,392	1,052,322
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 5/15/33	1,383,500	1,536,795
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 5/15/33 - 7/15/33	1,918,330	2,130,121
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 7/15/33	797,338	884,002
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 7/15/33	1,363,448	1,514,997
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 8/15/33	2,074,768	2,305,019
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 8/15/33 - 9/15/33	1,956,049	2,173,121
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 9/15/33	1,124,622	1,249,716
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 9/15/33	1,524,366	1,694,762
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 10/15/33 - 11/15/33	1,128,792	1,252,515
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 11/15/33 - 3/15/34	2,060,818	2,279,278
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 3/15/34 - 4/15/34	1,554,887	1,723,077
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 5/15/34	1,055,283	1,173,351
GNMA I SF 30 Year, 5.50%, 12/15/31 - 2/15/33	2,110,786	2,361,199
GNMA I SF 30 Year, 5.50%, 2/15/33 - 3/15/33	2,057,257	2,305,907
GNMA I SF 30 Year, 5.50%, 3/15/33 - 6/15/33	2,052,279	2,295,592
GNMA I SF 30 Year, 5.50%, 6/15/33 - 7/15/33	2,013,957	2,257,417
GNMA I SF 30 Year, 5.50%, 7/15/33	115,360	128,619
GNMA I SF 30 Year, 5.50%, 7/15/33	1,311,716	1,465,356
GNMA I SF 30 Year, 5.50%, 7/15/33 - 10/15/33	2,068,046	2,313,115
GNMA I SF 30 Year, 5.50%, 11/15/33 - 1/15/34	1,109,516	1,241,817
GNMA I SF 30 Year, 5.50%, 2/15/34 - 6/15/34	1,923,306	2,166,524

フランクリン・テンブルトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド

	元本額 (米ドル)	評価額 (米ドル)
GNMA I SF 30 Year, 5.50%, 6/15/34	1,546,053	1,742,394
GNMA I SF 30 Year, 6.00%, 2/15/24 - 9/15/32	1,861,861	2,152,577
GNMA I SF 30 Year, 6.00%, 9/15/32 - 2/15/33	1,956,952	2,258,789
GNMA I SF 30 Year, 6.00%, 2/15/33 - 10/15/33	1,750,235	1,998,465
GNMA I SF 30 Year, 6.00%, 11/15/33 - 12/15/33	2,010,676	2,323,905
GNMA I SF 30 Year, 6.00%, 3/15/24 - 4/15/34	1,573,918	1,806,221
GNMA I SF 30 Year, 6.00%, 4/15/34	3,175,341	3,677,588
GNMA I SF 30 Year, 6.00%, 5/15/24 - 9/15/34	1,592,292	1,809,629
GNMA I SF 30 Year, 6.00%, 10/15/34 - 4/15/37	1,810,378	2,095,858
GNMA I SF 30 Year, 6.50%, 12/15/30	716,362	825,797
GNMA I SF 30 Year, 6.50%, 12/15/23 - 11/15/34	1,634,856	1,887,002
GNMA I SF 30 Year, 7.00%, 5/15/22 - 5/15/28	2,110,225	2,363,592
GNMA I SF 30 Year, 7.00%, 5/15/28 - 2/15/31	1,495,692	1,733,718
GNMA I SF 30 Year, 7.00%, 9/15/31 - 10/15/31	1,157,691	1,369,639
GNMA I SF 30 Year, 7.00%, 4/15/32	3,164,328	3,748,779
GNMA I SF 30 Year, 7.00%, 5/15/32	882,309	1,045,309
GNMA I SF 30 Year, 7.50%, 2/15/32	2,562,375	3,095,323
GNMA I SF 30 Year, 7.50%, 2/15/23 - 3/15/32	1,235,019	1,377,794
GNMA I SF 30 Year, 7.75%, 4/15/21	49,169	50,584
GNMA I SF 30 Year, 8.00%, 11/15/16 - 3/15/32	1,159,129	1,272,733
GNMA I SF 30 Year, 8.25%, 5/15/20	6,638	7,459
GNMA I SF 30 Year, 8.50%, 2/15/17 - 2/15/32	1,068,667	1,184,995
GNMA I SF 30 Year, 8.75%, 1/15/25	8,540	8,582
GNMA I SF 30 Year, 9.00%, 4/15/16 - 9/15/30	623,373	704,852
GNMA I SF 30 Year, 9.50%, 4/15/16 - 3/15/25	19,314	20,628
GNMA I SF 30 Year, 10.00%, 7/15/17 - 10/15/21	12,452	13,282
GNMA I SF 30 Year, 11.00%, 12/15/15 - 9/15/17	7,066	7,108
GNMA I SF 30 Year, 11.50%, 10/15/15 - 8/15/18	2,112	2,124
GNMA II SF 30 Year, 3.00%, 12/20/42	769,002	776,018
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 12/20/42	2,533,787	2,624,751
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 4/20/43	1,319,298	1,366,432
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 8/20/42 - 11/20/42	1,979,280	2,050,336
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 5/20/43	2,240,835	2,320,892
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 6/20/43	3,437,223	3,560,023
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 9/20/43	5,242,901	5,430,212
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 2/20/44	4,832,689	5,005,345



FRANKLIN TEMPLETON
INVESTMENTS

	元本額 (米ドル)	評価額 (米ドル)
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 5/20/44	4,915,612	5,091,230
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 6/20/44	2,973,159	3,079,380
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 1/20/41	1,778,542	1,893,652
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 7/20/41	2,057,560	2,187,493
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 2/20/41 - 8/20/41	1,355,514	1,441,113
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 9/20/41	1,102,613	1,171,617
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 11/20/41	2,364,569	2,512,012
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 10/20/41 - 6/20/42	1,969,631	2,092,415
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 2/20/44	1,552,630	1,663,411
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 6/20/44	3,502,565	3,720,752
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 7/20/44	3,973,559	4,221,086
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 8/20/44	7,999,175	8,497,472
GNMA II SF 30 Year, 4.50%, 5/20/33 - 5/20/34	1,933,559	2,116,327
GNMA II SF 30 Year, 4.50%, 5/20/34	721,043	789,420
GNMA II SF 30 Year, 4.50%, 7/20/34	1,559,864	1,706,620
GNMA II SF 30 Year, 4.50%, 8/20/34 - 10/20/34	1,860,775	2,037,102
GNMA II SF 30 Year, 4.50%, 5/20/41	1,635,904	1,782,635
GNMA II SF 30 Year, 4.50%, 6/20/41	4,966,602	5,410,681
GNMA II SF 30 Year, 4.50%, 9/20/41	3,341,990	3,637,984
GNMA II SF 30 Year, 5.00%, 9/20/33	10,244,475	11,489,248
GNMA II SF 30 Year, 5.00%, 11/20/33	3,671,198	4,095,599
GNMA II SF 30 Year, 5.00%, 12/20/33 - 3/20/34	1,729,615	1,929,553
GNMA II SF 30 Year, 5.50%, 6/20/34	8,686,007	9,863,986
GNMA II SF 30 Year, 6.00%, 10/20/28 - 11/20/33	919,279	1,058,175
GNMA II SF 30 Year, 6.00%, 12/20/33 - 3/20/34	1,802,046	2,069,802
GNMA II SF 30 Year, 6.00%, 4/20/34	1,130,110	1,280,703
GNMA II SF 30 Year, 6.00%, 4/20/34 - 7/20/39	971,742	1,097,322
GNMA II SF 30 Year, 6.50%, 5/20/31	3,301,224	3,866,832
GNMA II SF 30 Year, 6.50%, 10/20/25 - 9/20/31	1,747,984	2,032,442
GNMA II SF 30 Year, 6.50%, 10/20/31	1,219,840	1,435,920
GNMA II SF 30 Year, 6.50%, 9/20/31 - 8/20/32	1,688,216	1,966,550
GNMA II SF 30 Year, 6.50%, 8/20/32 - 2/20/33	1,758,312	2,044,778
GNMA II SF 30 Year, 6.50%, 11/20/33	1,112,713	1,296,559
GNMA II SF 30 Year, 6.50%, 2/20/34 - 6/20/34	2,047,450	2,267,137
GNMA II SF 30 Year, 7.00%, 1/20/34	267,565	294,780
GNMA II SF 30 Year, 7.50%, 10/20/23 - 1/20/31	1,651,263	1,980,102

フランクリン・テンブルトン U.S.ガバメント・セキュリティーズII・ファンド

	元本額 (米ドル)	評価額 (米ドル)
GNMA II SF 30 Year, 7.50%, 2/20/31 - 1/20/33	1,314,425	1,595,107
GNMA II SF 30 Year, 8.00%, 10/20/16 - 7/20/31	622,920	735,999
GNMA II SF 30 Year, 8.50%, 1/20/17 - 11/20/31	375,309	446,447
GNMA II SF 30 Year, 9.00%, 8/20/16 - 1/20/27	339,120	388,510
GNMA II SF 30 Year, 9.50%, 6/20/16 - 12/20/21	18,476	19,458
GNMA II SF 30 Year, 10.00%, 9/20/20 - 9/20/21	2,540	2,733
モーゲージ担保証券計 (Cost \$216,040,120)		231,039,029
短期証券 (Cost \$5,720,000) 2.4%		
Bank of America NA, 0.00%, 10/01/14 (Maturity Value \$5,720,000)	5,720,000	5,720,000
Collateralized by U.S. Treasury Note, 2.75%, 02/15/19 (valued at \$5,841,951)		
合計 (Cost \$221,760,120) 99.7%		236,759,029
その他資産、負債を除く (0.3)%		658,030
純資産額 100.0%		237,417,059



FRANKLIN TEMPLETON INVESTMENTS

フランクリン テンプルトン インベストメンツは、創業以来
ベンジャミン・フランクリンの肖像画をロゴマークとしております。

創業者ルーパート・H・ジョンソン Sr.は、

“With money and financial planning, prudence comes first.”

(お金を増やそうとするときに一番大切なのは、用心深さである。)

というベンジャミン・フランクリンのビジネス哲学に深く感銘し、

アメリカ建国の父でもあり、偉大な科学者、

そして優れた投資家でもあった彼の名を社名に冠しました。

ベンジャミン・フランクリンの肖像画を用いたロゴマークは、

ご投資家の皆様にとって、

フランクリン テンプルトン インベストメンツの資産運用サービスに対する

信頼と安心の象徴となっております。